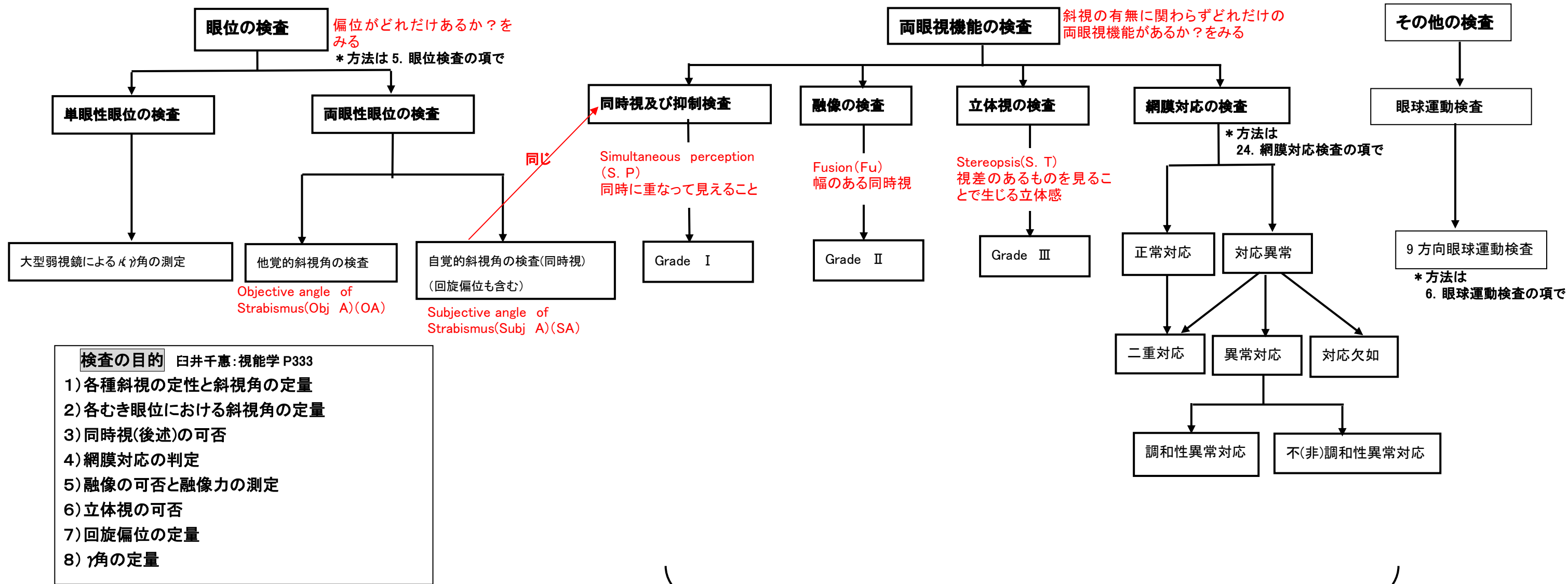


大型弱視鏡(Major amblyoscope・synoptophore)の目的

準備物
大型弱視鏡
色々なスライド

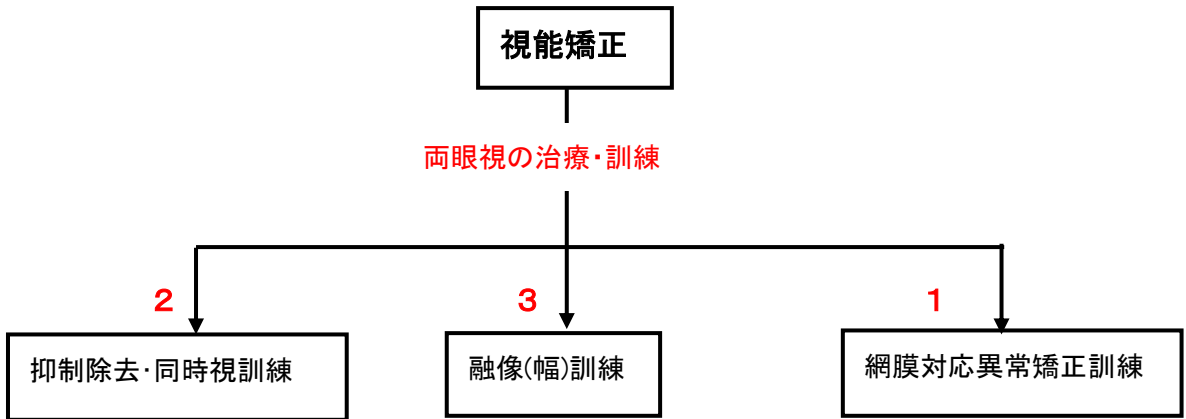
検査



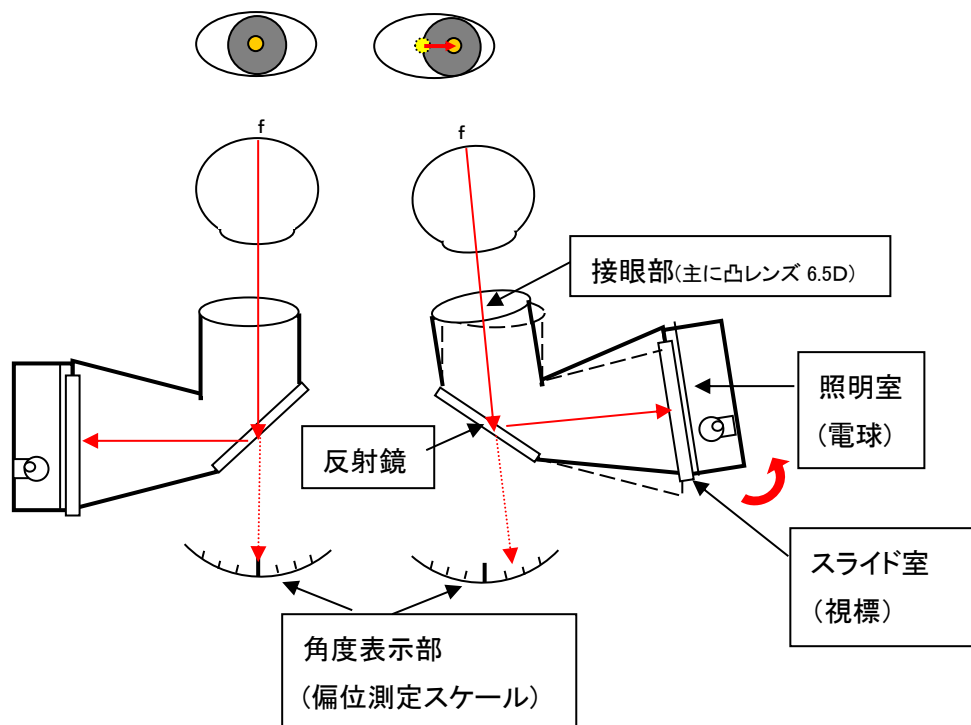
検査の目的 臼井千恵:視能学 P333

- 1) 各種斜視の定性と斜視角の定量
- 2) 各むき眼位における斜視角の定量
- 3) 同時視(後述)の可否
- 4) 網膜対応の判定
- 5) 融像の可否と融像力の測定
- 6) 立体視の可否
- 7) 回旋偏位の定量
- 8) γ 角の定量

治療



器械の構造と原理



スライド

◎サイズ

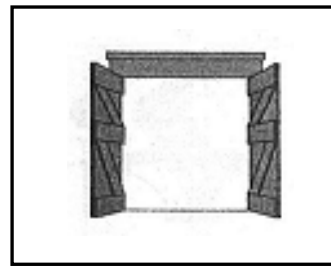
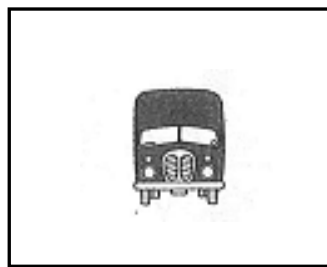
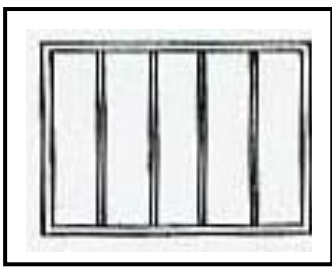
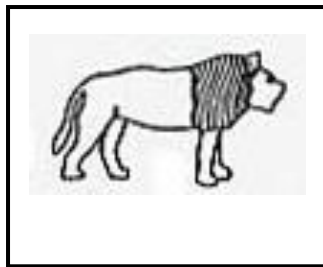
名称	通常の分け方	視能学 P335 での分け方 (ライオンと檻の場合)
最大サイズ		縦7° × 横11°
周辺サイズ (Peripheral size) Pサイズ	10° 以上	縦 4.5° × 横 7.5°
傍黄斑部サイズ (Paramacular size)	10° まで	
黄斑部サイズ (Macular size) M サイズ	3° ～ (5°)	縦 3.5° × 横 6°
中心窩サイズ (Foveal size) Fサイズ	1° ～ 2°	縦 2° × 横 3°

SP 測定時、S と P の間に測定した視標のサイズを記入する病院もある。

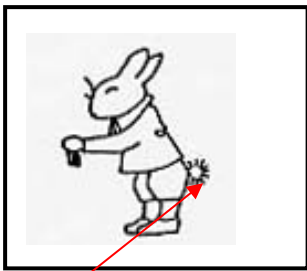
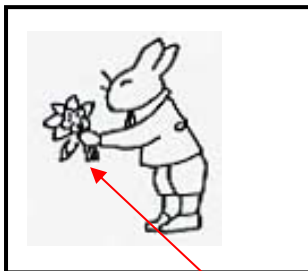
例えば、SP を **M** サイズで測定した場合、**SMP** と書く。

◎同時視検査用スライド・・・異質(異型)図形

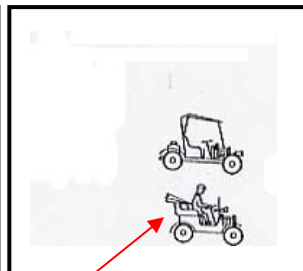
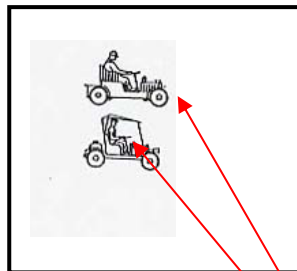
スライドは Clement Clarke 社、イナミ社説明書より



◎融像検査用スライド・・・同質(相似)図形

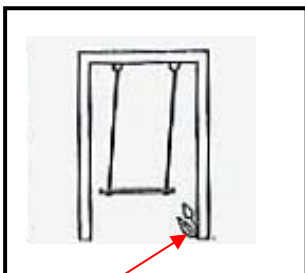
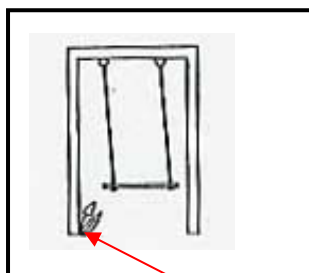


チェックマーク

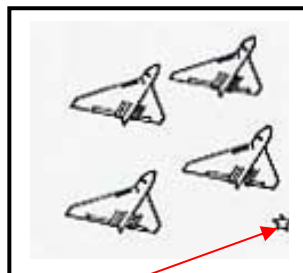
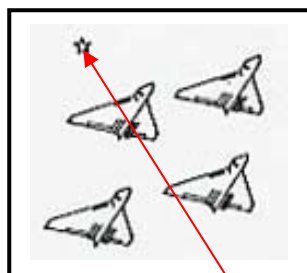


チェックマーク

◎立体視検査用スライド・・・視差のある相似(偏心)図形



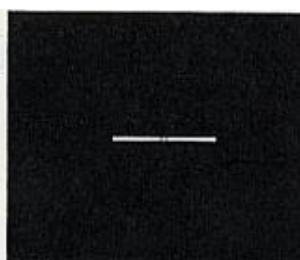
チェックマーク



チェックマーク

◎残像用スライド・・・網膜対応検査に使用

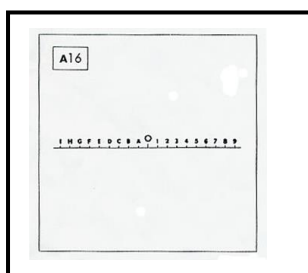
どう見えるか？



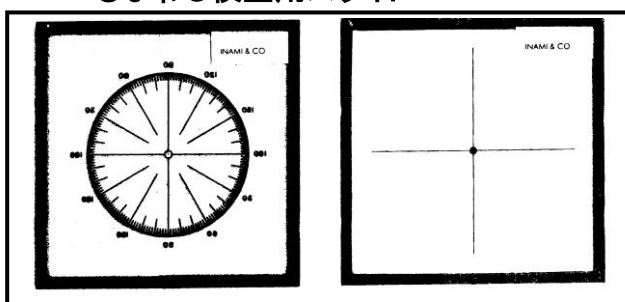
=



◎ κ 角測定用スライド



◎まわし検査用スライド



長所

- ・鏡筒で左右が完全に分離されるため、左右眼にそれぞれ任意の図形を見せることができる。
- ・眼位に合わせて図形を投影できる。(水平・上下・回旋の3方向)
- ・接眼部に種々の度数の凸レンズを入れることで、測定したい距離を設定できる。
(通常、遠見にあわせる)

短所

- ・凸レンズをいれて調節性輻湊を除いても、近接性輻湊(物体が近くにあるという感覚によって起こる輻湊)が介在し、日常眼位と異なる場合がある。
- ・自然視とは違う。

注意点

◎検査前

①視診・問診・・・斜視の問診の項参照

- ・現病歴(主訴の発症時期と経過)(発症の状態)(主訴の性質と自覚症状)(その他の症状)

両眼視がある可能性の把握

固視状態・斜視・複視の有無
見え方(交差性・同側性・共同性・非共同性)
眼精疲労など

- ・治療歴
- ・既往歴(発達歴・・・年齢・知能)
- ・家族歴

②屈折異常の有無・・・原則として完全矯正下(なるべくレンズホルダーに入れる)

③他の検査結果

④検査したいことの把握・・・優先順位の把握

⑤本人の性格・・・集中力・積極性・順応性・理解力など

⑥器械の準備

- ・光学台と椅子の高さ・顎台・額当ての調整
- ・瞳孔間・接眼部と角膜の距離(約 2cm)の調整
- ・その他の目盛りを 0° にセットする

⑦被検者への説明・・・実際にスライドを見せて行う

◎検査中

①眼の動きは、なるべく下方から見る(光軸上に視線を持ってくる)

②同時視が確認できない場合、上下と回旋のチェックも忘れずにすること

③上下偏位や回旋(専用のスライドもある)の測定は上下に長い視標を・・・回旋は少しのずれは訴えないことがあるので、一度大きく傾けてみてから直してゆき、反対方向からも同様に中間点をとること。

山本裕子:斜視・弱視の診断検査法 P127 より

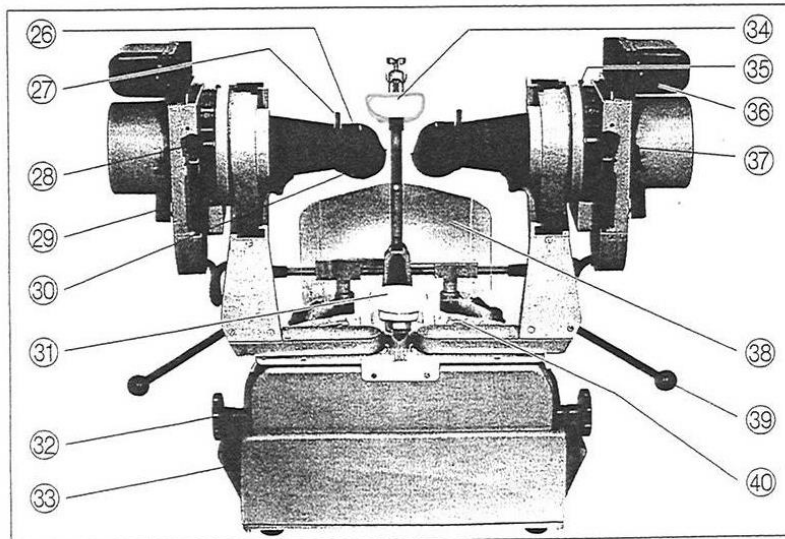
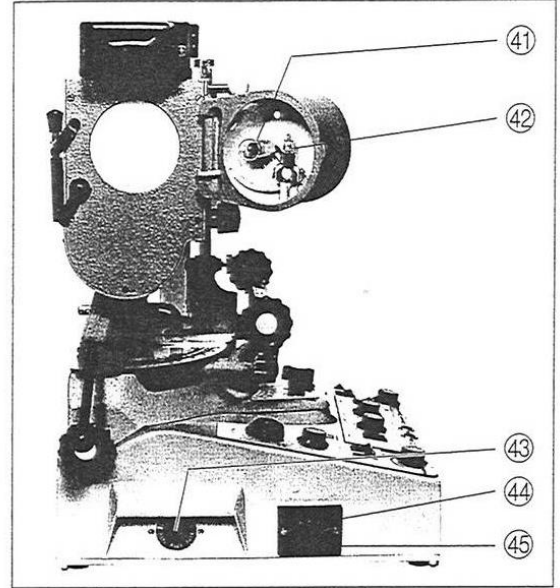
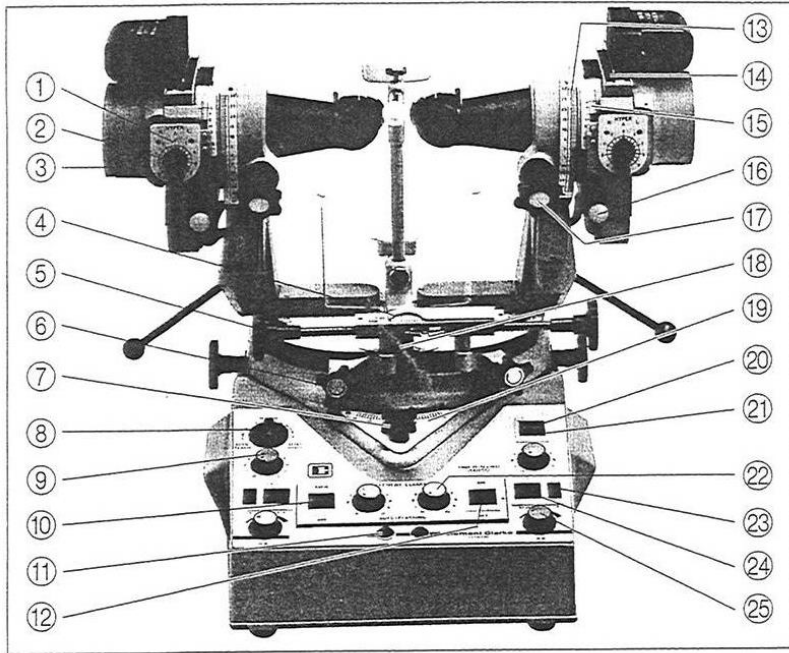
◎検査後

- 各目盛りを 0° にもどしておくこと

大型弱視鏡色々

説明書より

例)Clement Clarke 社製 2001 型

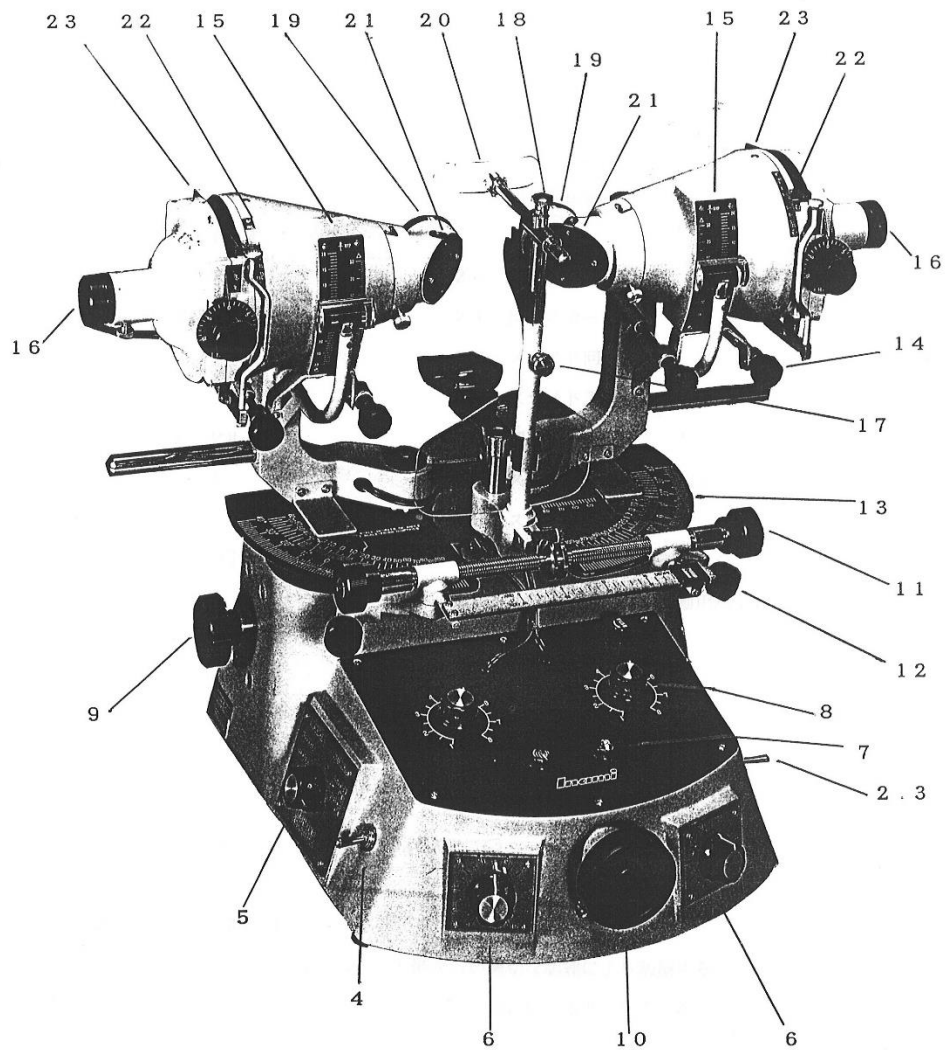


- | | | |
|---------------|--------------------------------------|---------------------------|
| ② 垂直偏位角調節ノブ | ①⑦ 視標上下回転調節ノブ | ③② 瞳孔間距離調節ノブ |
| ③ ランプハウス | ①⑧ 中央固定ロック | ③③ ハンドル |
| ④ 輻湊開散スケール | ①⑨ 瞳孔間距離スケール | ③④ 額当て |
| ⑤ 輻湊開散調節ノブ | ②⑩ パイロットランプ | ③⑤ 視野絞り調節ノブ [※] |
| ⑥ 鏡筒固定ロック | ②⑪ 電源スイッチ | ③⑥ ハイジンガーブラシ [※] |
| ⑦ アゴ台調節ノブ | ②⑫ 点滅時間調節ツマミ | ③⑦ ランプハウス固定ネジ |
| ⑧ 選択スイッチ | ②⑬ ハイジンガーブラシ ON/OFFスイッチ [※] | ③⑧ プレスシールド |
| ⑨ 調光ダイヤル | ②⑭ ハイジンガーブラシ 反転スイッチ [※] | ③⑨ 水平回転ハンドル |
| ⑩ 点滅速度切換えスイッチ | ②⑮ ハイジンガーブラシ 速度調節ツマミ [※] | ④⑩ 水平偏位角スケール |
| ⑪ 手動点滅スイッチ | ②⑯ 接眼レンズ | ④① 視標照明用ランプ |
| ⑫ 自動点滅スイッチ | ②⑰ ブルーフィルタ [※] | ④② 残像用ランプ |
| ⑬ 視標上下回転スケール | ②⑱ 視標エジェクタ | ④③ 入力電源セレクト (通常110Vの位置) |
| ⑭ 視標キャリア | ②⑲ 乳白色板着脱レバー | ④④ 入力電源ソケット |
| ⑮ 視標回旋偏位角スケール | ②⑳ 補助レンズホルダ | ④⑤ ヒューズホルダ |

※2001型のみ

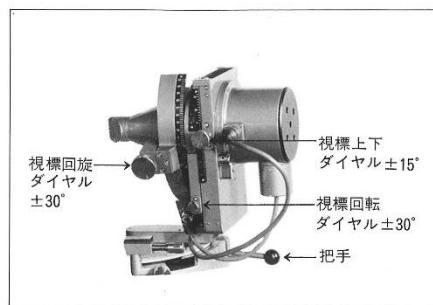
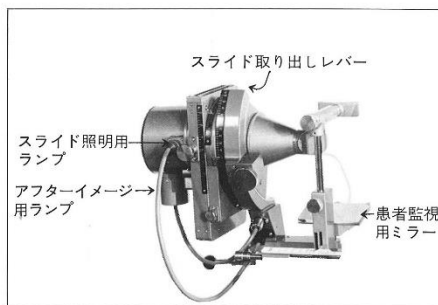
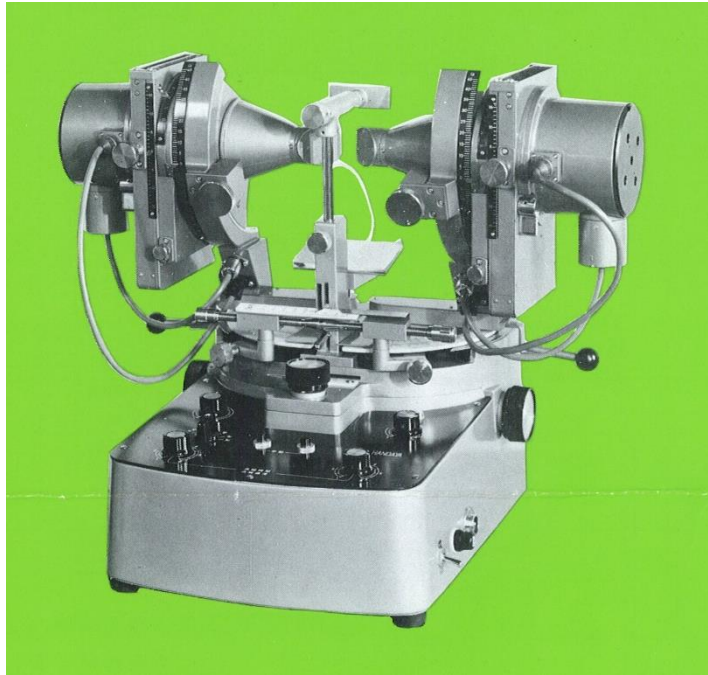
なお、改良の為、外観図が実物と異なる箇所 (③⑦) があります。

例) イナミ社製

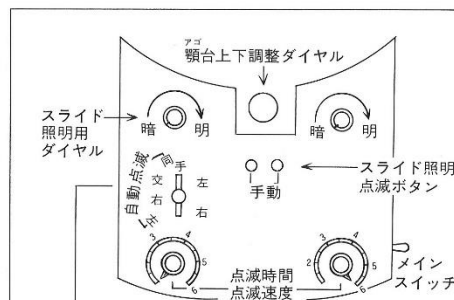


- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 100V電源コード | 16 電球ソケット |
| 2 電源スイッチ | 17 額当上下調節固定ネジ |
| 3 パイロットランプ | 18 額当前後調節固定ネジ |
| 4 自動点滅器接続スイッチ | 19 接眼鏡 |
| 5 自動点滅器セレクター | 20 額当 |
| 6 自動点滅器時間調節器 | 21 反射ミラー |
| 7 手動点滅用ボタン | 22 スライド回転用目盛 |
| 8 照明可変ダイヤル | 23 スライド入れ |
| 9 瞳孔距離調節ダイヤル | 24 顎台 |
| 10 顎台調節用ダイヤル | 25 スライドチューブ回転ネジ |
| 11 幅縁用微動装置 | 26 スライド回転ネジ |
| 12 スライドチューブ固定ネジ | 27 スライド上下方向調節ネジ |
| 13 偏位角目盛板 | 28 スライドチューブ移動用ハンドル |
| 14 スライド取出装置 | |
| 15 スライドチューブ回転目盛 | |

例)ハンダヤ製



💡 スライド照明用電球(白色, 4.5V, 0.3A)
アフターイメージ用電球 (6 V, 5.5A, 33W)



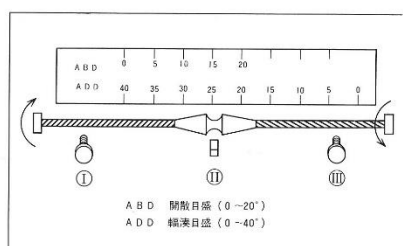
自動点滅(スライド照明電球)速度は点滅時間, 点滅速度調整ダイヤルにて合わせて下さい。

- 左…左側電球だけが自動点滅します。
- 右…右 " " "
- 交…左右電球が交互に点滅します。
- 同…左右電球が同時に点滅します。

手 通常使用時(自動点滅を用いない場合)は、ダイヤルをこの位置にセットして下さい。

なお押しボタン(手動)により、左右の電球を点滅できます。

左 アフターイメージ用電球(6V, 5.5A)を点灯するとき用います。



水平角度目盛を0にして、左図①②③をロックして、開散運動, 輻湊運動を行います。
平行移動の時はBを外して本体下部の把手を持って動かして下さい。